

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和02年07月08日

計画の名称	鈴鹿市公園施設長寿命化対策事業												
計画の期間	平成26年度～平成30年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	鈴鹿市												
計画の目標	本市では、市民が、快適で安心して暮らしていただけることを目的とし、進展する老朽化に対する公園施設の安全対策の強化及び改修・更新費用の平準化を図り、遊具等公園施設の健全度を把握するための点検調査を実施し、安全対策の強化等に必要な資料収集を行うとともに、公園施設長寿命化計画を策定し、誰もが快適に利用できる施設の提供を行うため、公園施設長寿命化計画に基づき適切に維持管理されている公園施設の改築、バリアフリー化を行い安全性確保に取り組む。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	620	A	500	B	0	C	120	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	19.35	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	平成30年度末までに鈴鹿市都市公園の長寿命化計画の達成度30%を目指す。 鈴鹿市都市公園の長寿命化計画の達成度。（進展する老朽化に対する公園施設の安全対策の強化） 達成度（%）＝計画期間5年間の事業費／長寿命化計画10年間の全体事業費	7%	15%	30%
2	鈴鹿市都市公園の過去5年間の公園内行為申請数430件を整備計画期間5年間に500件に増加。 鈴鹿市都市公園の過去5年間の公園内行為申請数。（誰もが快適に利用できる公園施設の提供） 過去5年間の公園内行為申請数430件→整備計画期間5年間の公園内行為申請数500件(+70件)	430件	件	500件

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
・（国土強靱化地域計画名）に基づき実施される要素事業：A1～A7全て【※防災・安全交付金の整備計画にのみ記載】・（定住自立圏共生ビジョン名）に基づき実施される要素事業：A4-3												

A 基幹事業																					
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況		
												H26	H27	H28	H29	H30					
		一体的に実施することにより期待される効果																			
		備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	公園施設長寿命化対策支援事業	遊具更新・公園施設更新等 深谷公園等181公園	鈴鹿市	■	■	■	■	■	400		策定済		
	A12-002	公園	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	公園施設長寿命化計画策 定調査	公園施設長寿命化計画の策定 337公園	鈴鹿市	■	■				40		策定済		
	A12-003	公園	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	都市公園安全・安心対策 緊急総合支援事業	園路広場バリアフリー化(旭 が丘中央公園)	鈴鹿市	■	■				60		策定済		
												小計						500			
												合計						500			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H26	H27	H28	H29	H30			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	C12-001	公園	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	—	—	公園施設長寿命化対策支援事業	フェンス・ベンチ等の更新(2ha未満の公園施設)	鈴鹿市	■	■	■	■	■	120		策定済
		遊戯施設(A12--001) とその他施設を一体的な更新により利用者の安全・利便性が向上し、地域の活性化を図ると共に市民団体等との新たな維持管理体制の構築に努め、コスト削減を目指す。																	
		遊具施設以外																	
											小計						120		
											合計						120		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事業担当課である鈴鹿市都市整備部市街地整備課にて事後評価を実施した。	事後評価の実施時期	令和2年度6月
公表の方法	鈴鹿市のホームページに掲載		

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	鈴鹿市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の安全対策が実施できたことにより、公園施設の安全性が向上し、また公園が親しまれ、憩いの場となっていることを示す指標の一つと考えられる公園内行為の申請数が増加した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	公園施設長寿命化事業を実施したことにより、公園施設が更新され、効果的効率的な公園施設の安全対策を実施することができた。

○特記事項（今後の方針等）

鈴鹿市公園施設長寿命化計画に沿って公園利用者の安全と利便性を確保するように適切な施設の維持修繕及び更新を実施し、また公園施設の日常点検及び定期点検を行い、公園利用者が安全で快適に利用できる公園施設の提供に努める。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	平成30年度末までに鈴鹿市都市公園の長寿命化計画の達成度30%を目指す。	
	最終目標値	30%
	最終実績値	36%
2	鈴鹿市都市公園の過去5年間の公園内行為申請数430件を整備計画期間5年間に500件に増加。	
	最終目標値	500件
	最終実績値	555件